

令和5年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 69 ） 学校名 豊田市立御蔵小学校

1 テーマ

『御蔵の魅力』再発見～地域にある自然や人を生かして学び、発信しよう～

2 ねらい

地域の自然や人々と関わったり、主体的に地域に働きかけたりすることで、子どもと地域の距離は近くなる。御蔵の風土に見守られながら、子どもたちは多くの知恵や生きる力を受け継ぎ身に付けていく。それら貴重な体験を積み重ねることで自分の生き方を考え、主体的に行動する力が育つと考える。この地で地域の自然や人々と関わった体験が、子どもたちの生きる力となるように、計画的・系統的に特色ある活動をしていく。

3 活動内容

①低学年「みくらのみりょく はつけんたい」

生活科の学習の中で、学区内の自分たちが知らない地区を訪れ、魅力ある場所を探した。1・2年生が住んでいない地区を中心に、地域講師「みくらのすてきさん」を訪ね、「おちゃたいけん」や「ピザ作りたいけん」をさせていただき、御蔵の魅力を見つけることができた。

②中学年「円山自然調査隊」

御蔵の自然について、もっとみんなに知ってもらいたいという思いから、学校前の阿摺川の水生生物調査を行い、学校で円山水族館を開いた。阿摺川の生物について、図鑑やインターネットを使って調べた生態や、飼育を通して気付いたことをポップにして水族館に掲示した。地域の生物に対する関心を深めることができた。また、御蔵小学校で育てた野菜を使って料理をする「円山レストラン」の活動を通して、地産地食の大切さに気付くことができた。

③高学年「御蔵を未来に残し隊」

開校150年を迎えた御蔵小学校が、どんなあゆみで今日をむかえたのかを知りたいと思い活動を始めた。校内に掲示されている写真や校長室に保存されているアルバムから過去を探ったり、校庭の石碑に記されている人物について調べたりした。横山峰太郎氏について、子孫にあたる方をお招きしてお話を聞き、現在の地に校舎が建った経緯や、昔の学校や子どもたちの様子を教えていただいた。それらをまとめ、記念式典で発表した。

4 成果と課題

御蔵の自然を生かして、各学級が地域に出かけるなどの体験を通して地域を知ることができた。子どもたちは地域を知り、地域の人を知る機会になっている。低学年の児童は「会ったことのない人にもっと会ってみたい」と感想をもった。本年度は御蔵小学校開校150周年を迎えて、社会科で歴史を学習したこともあり、明治時代の学制の公布によって御蔵小学校も開校したと知り、歴史をより身近に感じられた。未来に御蔵小を残したいと考え、再度自分たちの学校、地域を見直すきっかけとなった。高学年は御蔵のよいところ3つについて、さらによくしようと取組を進めた。保護者には「地域に出かける校外学習が充実している」と評価していただいている。また、畑での野菜の栽培は、根気よく世話をすることで苦労を知ることができた。それに加え、収穫の喜びも感じることができ、子どもたちが意欲的に取り組んだ。

保護者アンケートでは「とてもよ・よい」75%、「あまりよくない・よくない」

17%、「わからない」8%であった。子どもたちが主体的に取り組むような工夫をしたり、通信や学校ＨＰなどでの配信で取組の様子をわかりやすく伝えたりするよう努めたい。地域講師の活用は、コロナ禍で途切れてから少しづつ復活させているが連絡調整ができないこともある。地域コーディネーターを活用しながら地域や家庭と一緒に子どもたちを育てていきたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・活動を実施したときには、学級だより、学校だよりにおいて紹介した。また、学校ホームページでも各学年の内容が随時更新されるように作成担当者と担任が連携し公開の頻度を増やした。
- ・1年間の学習の成果を2月学校公開日（円山学習発表会）に保護者に向けて発表した。感想交流では、保護者がたくさん意見を発表してくださった。